

財務諸表に対する注記

1.継続事業の前提に関する注記

該当なし

2.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券・・・償却原価法による(取得価格と債券金額に差額のあるものについて償却を行っている)

② その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格に基づく時価法(評価差額は、正味財産増減額として処理し、
売却原価は移動平均法により算定)による。

時価のないもの・・・総平均法による原価法

(2)引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えて、当事業年度末における自己都合要支給額の100%を引当計上している。

(3)消費税の会計処理

消費税及び地方税の会計処理は、税込み方法によっている。

3.会計方針の変更

該当なし。

4.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	6,000	0	3,000	3,000
投資有価証券	299,994,000	3,000	0	299,997,000
小計	300,000,000	3,000	3,000	300,000,000
特定資産				
事業運営基金				
預金	168,229,429	17,290,275	0	185,519,704
投資有価証券	2,825,314,000	919,548,240	0	3,744,862,240
貸与奨学金	38,719,300	5,880,000	8,170,275	36,429,025
退職給付引当預金	2,996,774	433,648	0	3,430,422
小計	3,035,259,503	943,152,163	8,170,275	3,970,241,391
合計	3,335,259,503	943,155,163	8,173,275	4,270,241,391

注) 味の素株式の東京証券取引所プライム市場 令和5年3月末日の終値は4,606円であった。
(前年度同日終値 3,475円)

5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当金)	(うち一般正味財産 からの充当金)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
預金	3,000	(0)	(3,000)	-
投資有価証券	299,997,000	(0)	(299,997,000)	-
小計	300,000,000	(0)	(300,000,000)	-
特定資産				
事業運営基金				
預金	185,519,704	(81,026,529)	(104,493,175)	-
投資有価証券	3,744,862,240	(0)	(3,744,862,240)	-
貸与奨学金	36,429,025	(0)	(36,429,025)	-
退職給付引当預金	3,430,422	-	-	(3,430,422)
小計	3,970,241,391	(81,026,529)	(3,885,784,440)	(3,430,422)
合計	4,270,241,391	(81,026,529)	(4,185,784,440)	(3,430,422)

6.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
債券:東京都公募公債	99,997,000	100,640,000	643,000
味の素(株)社債	100,000,000	100,290,000	290,000
みずほ証券(株)社債	100,000,000	99,020,000	△ 980,000
合計	299,997,000	299,950,000	△ 47,000

注)上記時価は取扱証券会社によって評価または算定された参考時価である。

7.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
受取寄附金	42,260,000
合計	42,260,000

8.引当金の増減及びその残高

引当金の増減及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	2,996,774	433,648	0	3,430,422